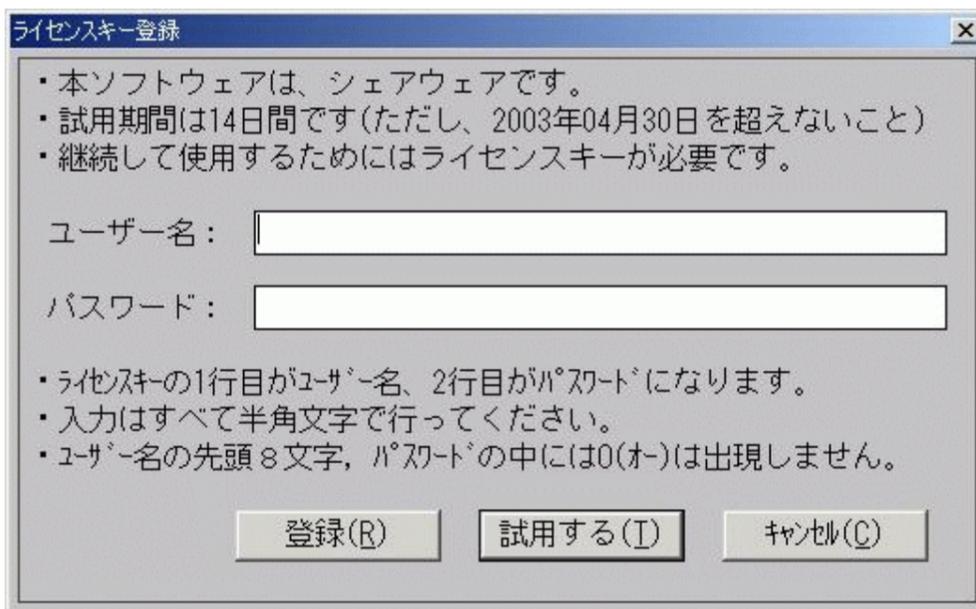


QuickDVDでMENUを付ける

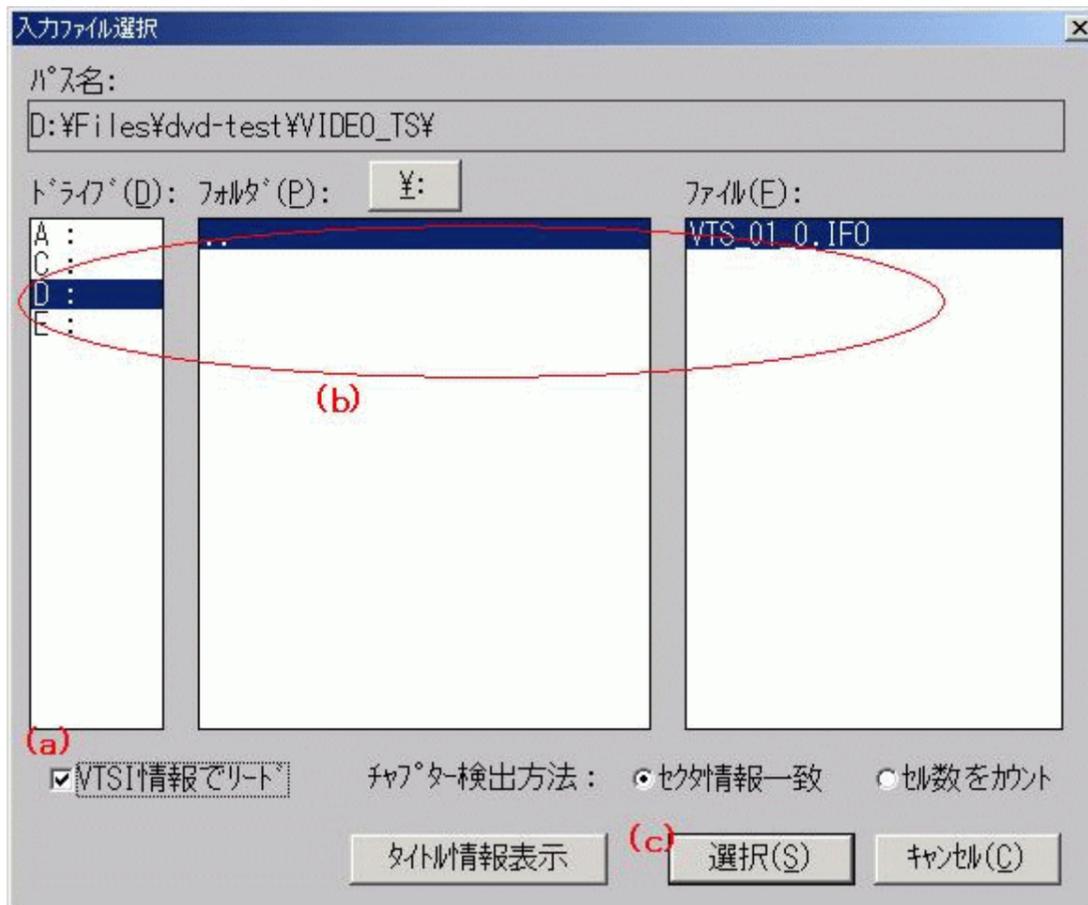
QuickDVD(シェアウェア、試用可)を使用します。
今回は試用にしましょう。



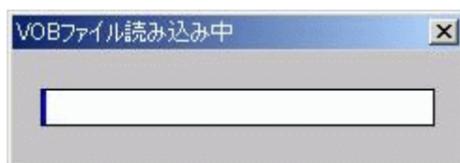
圧縮データの指定



- (1) 出力を行うフォルダを指定します。(c:¥ccc¥と仮定する)
(2) 入力ボタンを押して入力ファイル選択画面を開く。



- (a) VTSI情報をチェックする。
 (b) 入力ファイル選択画面が開いたら圧縮済みデータがあるフォルダを指定します。
 (ここではDVD2Oneで圧縮したデータがあるc:\bbbとします)
 (c) 選択ボタンを押して画面を閉じます。

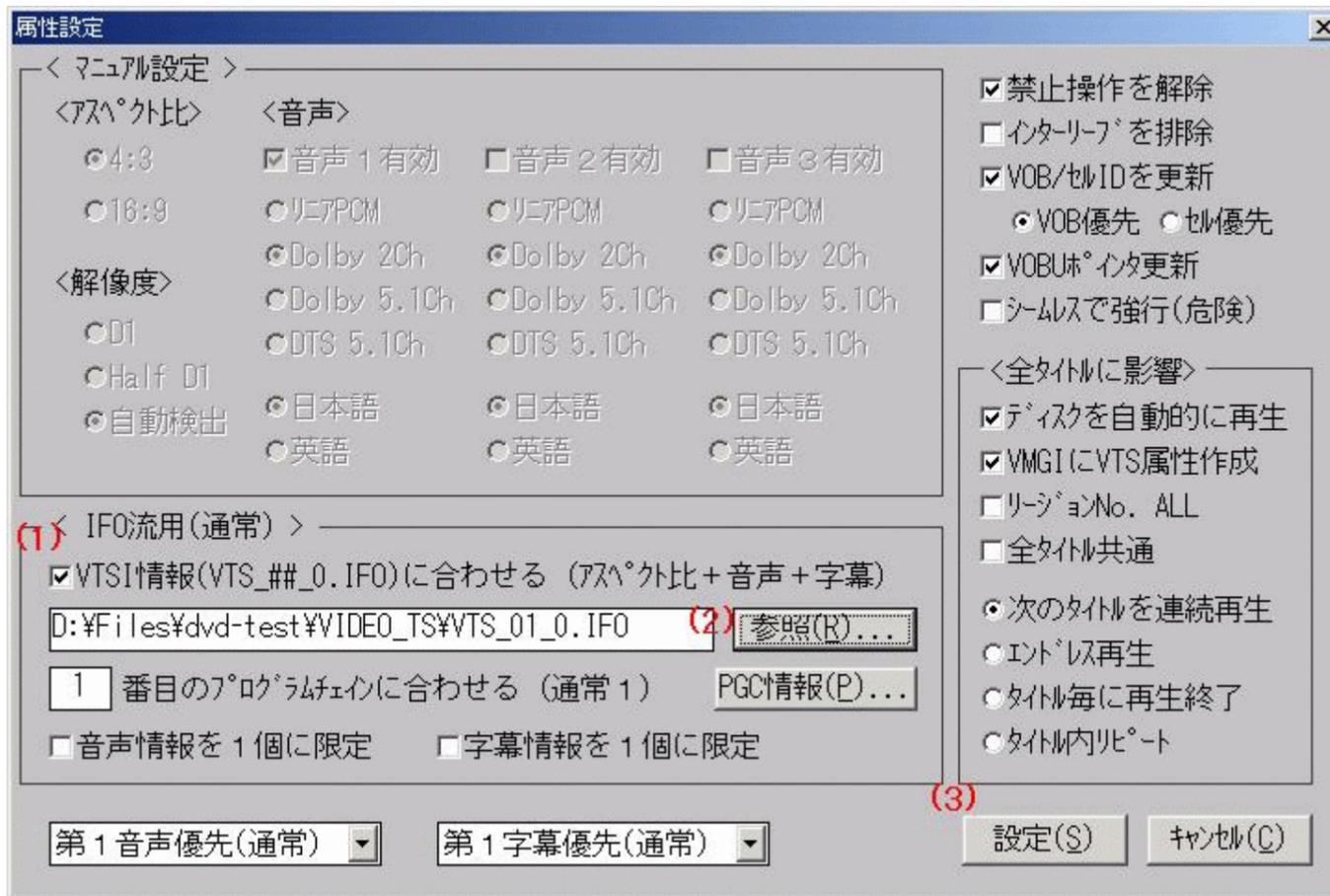


閉じると読み込みが始まります。しばらく待ちましょう。

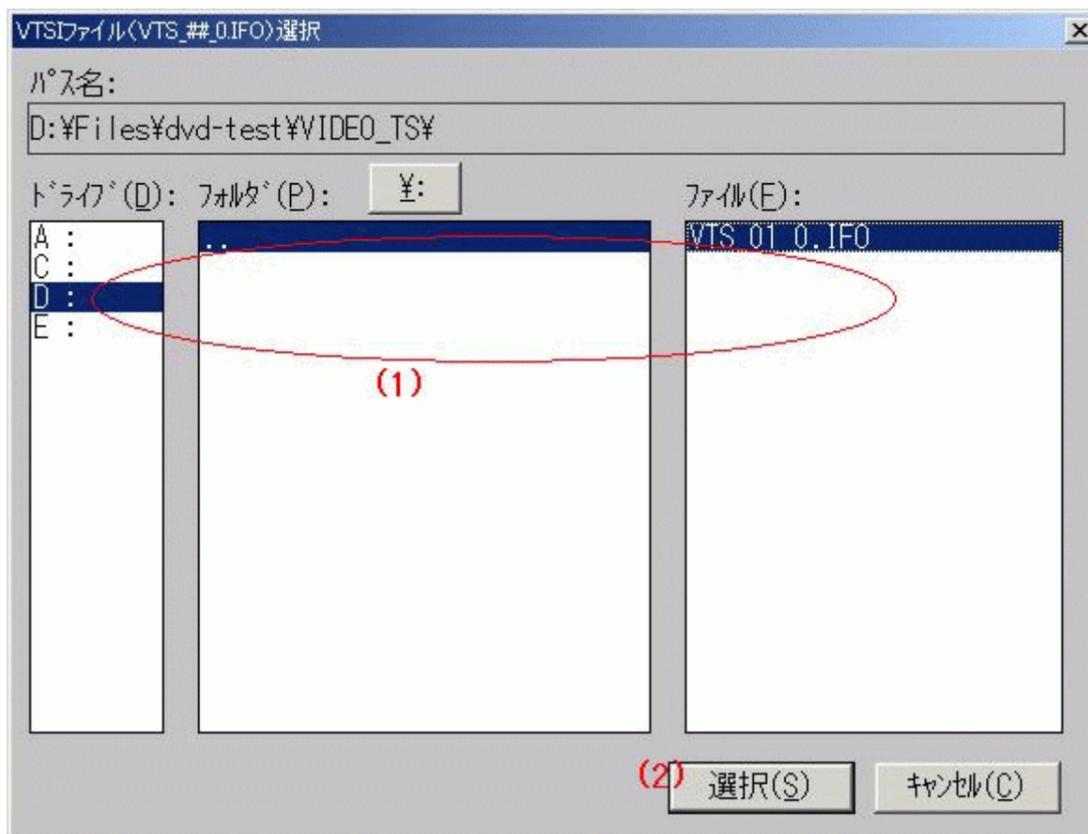


- 読み込みが終わったら、(3)「追加」ボタンを押して右欄にVOBファイルを追加します。
 (4)の属性ボタンをおして設定画面を開きます。

属性の設定
 属性ボタンを押すと属性設定画面が出ます。



- (1) ここでIFO流用を行うためVTSI情報をチェックします。
- (2) 参照ボタンを押して本編のIFOファイルを指定しましょう。(下記、画像参照)
- (3) (2)が終わったら設定ボタンを押して設定画面を閉じます。



- (1) 参照ボタンを押すと上記の画面が出るので本編のIFOファイルを指定します。
(ここではc:\bbb¥VTS_01_0.IFOとします)
- (2) 閉じます。

DVDイメージ作成



の(5) DVDイメージ作成ボタンを押します。しばらく待ちます。

メニューを付ける



- の(6)メニューボタンを押して画面を開きます。
- (1)メニューをCに指定する。
 - (2)メニュー側のフォルダを指定する。
(ここではリッピング時のフォルダc:\aaa¥を指定します。)
 - (3)情報取得ボタンを押します。
 - (4)実行ボタンを押します。実行完了後、戻るボタンで閉じます。

終了

で作業終了です。ソフトを終了させます。

[フローチャートへもどる](#)

Copyright 2003 Takuwan